

採点基準 世界史

- ※ 以下の加点ポイントは目安です(加点ポイントは< >でくり、得点として+1 を付けている)。実際は個々の答案の状況に応じて採点しています。
- ※ 学習の成果を少しでも拾いたいため、部分点はできるだけ与える方向で採点していますが、実際の入試では同じ扱いとは限りません。完全な答案を目指して、しっかり復習しましょう！

第 1 問 1870 年代から 1950 年代までの平和への努力とその限界 (配点 31 点)

- ※ 8 行目に入っている答案を採点対象とする。
- ※ 指定語句は指定された形で用いていない場合は加点しない。
- ※ 22 行目に入っていない答案は、加点ポイントを満たしていても満点にしない。
- ※ 指定語句に下線を引いていない答案(個数には関わらない)は、全体から 1 点減点とする。

※第一次世界大戦や第二次世界大戦の内容については加点しない。

1 1870 年代～第一次世界大戦勃発 ※下線は指定語句

- ① ビスマルクはヨーロッパの平和維持(現状維持)を図ったこと…1 点
- ② ①としてビスマルクはヨーロッパの勢力均衡(フランスの孤立化)を図ったこと…1 点
※「三帝同盟、ベルリン会議、三国同盟、再保障条約」など、具体的な言及も可
- ③ ビスマルクは皇帝ヴィルヘルム 2 世によって退けられたこと…1 点
- ④ ヴィルヘルム 2 世は「世界政策」を志向したこと…1 点
※「ヴィルヘルム 2 世はイギリス(フランス)と対立した」なども可
- ⑤ ハーグ万国平和会議が開催されたこと…1 点
- ⑥ ⑤は軍縮については成果がなかったこと…1 点
- ⑦ 第 2 インターナショナルは、結成時は反戦平和(反戦主義)を掲げたこと…1 点
- ⑧ 第 2 インターナショナルは、大戦勃発とともに戦争支持へ転換したこと…1 点
※「大戦勃発後、労働者の国際的連帯が崩れた」なども可

2 第一次世界大戦中～1920 年代

- ① ロシアの革命政府(ソヴィエト政権)が「平和に関する布告」を発表したこと…1 点
- ② ①は無視された(交戦国が①を受け入れなかった)こと…1 点
- ③ アメリカ大統領ウィルソンが十四カ条を提唱したこと…1 点
- ④ 十四カ条の内容: 秘密外交の廃止、民族自決、軍備縮小、海洋の自由、関税障壁の撤廃、植民地問題の公平な解決など(国際平和機構の設立は除く)…1 点(いくつ書いても 1 点)
- ⑤ 十四カ条の多くは(英仏の思惑で)実現しなかったこと…1 点
※「ヴェルサイユ体制が構築された」なども可
- ⑥ 総力戦となった大戦(大戦の甚大な被害)が平和への希求を高めたこと…1 点
※「国際平和機構の設立が実現した」なども可
- ⑦ (大戦後)国際連盟が設立されたこと…1 点
- ⑧ ⑦が国際協調に貢献したこと…1 点
- ⑨ ⑦は戦争防止のための実効性に欠けていたこと…1 点

⑩ ⑨の理由：アメリカが加盟しなかったこと…1点

※「大国の不参加」、「制裁手段が不十分」、「決議の全会一致制」なども可

⑪ アメリカの不参加の理由が国内の孤立主義にあったこと…1点

⑫ ワシントン会議が国際協調や軍縮に貢献したこと…1点

⑬ ⑫で締結された条約名：九カ国条約、四カ国条約、海軍軍備制限条約…1点（いくつ書いても1点）

※「ワシントン体制が構築された」なども可

⑭ ロカルノ条約が締結されたこと…1点

⑮ ⑭の結果、ドイツが国際連盟に加入したこと…1点

⑯ 不戦条約（ブリアン・ケロッグ条約）が締結されたこと…1点

⑰ ⑯は戦争防止のための実効性に欠けていたこと…1点

※「⑯は戦争違法化の先例となった」なども可

3 1930年代～1949年

① 世界恐慌がファシズム勢力を台頭させたこと…1点

② 列強がブロック経済を行ったこと…1点

③ ブロック経済（ブロック間の摩擦・対立）は第二次世界大戦開戦の経済的要因になったこと…1点

※「ブロック経済で保護貿易政策をとった」なども可

④ 英仏の宥和政策がファシズム勢力の拡大を助長したこと…1点

※「融和政策の具体例：英独海軍協定、ミュンヘン会談」「ファシズム国家は対外進出を行った」「日本（ドイツ、イタリア）が国際連盟を脱退した」などを挙げて可

⑤ 大西洋憲章が発表されたこと…1点

⑥ （大戦後）ブレトン=ウッズ国際経済体制が始動したこと…1点

⑦ （大戦後）国際連合が設立されたこと…1点

⑧ ⑦の安全保障理事会が国際連合の平和維持のための中心機関であること…1点

※「安全保障理事会が経済的・軍事的制裁を行う権限を持った」なども可

⑨ 安全保障理事会は常任理事国の拒否権発動で機能が停滞したこと…1点

⑩ ⑨の背景に冷戦があったこと…1点

⑪ ⑨に対し、平和のための結集決議が総会で採択されたこと…1点

4 1950年代

① （スターリンの死後）ソ連に「雪どけ」の動きが現れたこと…1点

② ジュネーブ4巨頭会談が開催されたこと…1点

③ ネルーと周恩来が平和五原則（平和共存など）を確認したこと…1点

④ 平和十原則がアジア=アフリカ会議（バンドン会議）で採択されたこと…1点

⑤ ④は、第三勢力（第三世界）の形成を背景にしていること…1点

⑥ フルシチョフが平和共存政策を提唱したこと…1点

⑦ ラッセル・アインシュタイン宣言で核兵器廃絶などが訴えられたこと…1点

⑧ （⑦を受けて）科学者によるパグウォッシュ会議が開催されたこと…1点

⑨ 第五福竜丸事件は反核運動を高揚させたこと…1点

※「広島で第1回原水爆禁止世界大会が開催された」ことを述べて可

5 論理構成点 (=上記加点ポイントの他に、論理展開を意識している答案に与えるプラスアルファの点。論述問題の解答は、単に歴史用語をつなげればよいというわけではないことを受験者に理解してほしいために設けている。解答欄の右上欄外に、+1または+2を付けている。加点されない場合は数字なし)

- ① 1~4 がバランスよく書かれていること…1点 ※2 は多めでよい。
- ② 1~4 で、平和実現への努力や動向の限界がそれぞれ明記されていること…1点

第2問 海洋の歴史 (配点 19点)

- ※ 加点ポイントをすべて満たしていても、それ以外に明白な誤りがある場合は、満点を与えない。
- ※ 加点ポイントの合計が満点に達しても、設問全体の必須事項が欠けている場合は、満点を与えない。
- ※ 第2問を(ハ)に、第3問を(ニ)に書いているなどの場合は、違う解答欄の答えは採点しない(0点)。

問(1)(a)3点満点 ※①なければ満点にしない

- ① 名称：琉球王国(琉球)…1点
 - ② 中山王(尚巴志)により統一されたこと…1点
 - ③ 明の冊封を受けたこと…1点
 - ④ 薩摩(島津氏)の支配を受けたこと…1点
- ※③④あわせて「日中両属体制になった」なども可

(b)3点満点 ※④がなければ満点にしない

- ① オランダの支配下にあったこと…1点
 - ② (①に代わって)鄭氏の支配下となったこと…1点
 - ③ (②に代わって)清の支配下となった…1点
- ※「康熙帝に制圧された」なども可
- ④ (③に代わって)日本の支配下となったこと…1点

問(2)(a)3点満点

- ① 北イタリア諸都市(北イタリア商人)が中心であったこと…1点
- ※「ヴェネツィア、ジェノヴァ、ピサ」など具体的な都市名も可
- ② 地中海東岸地域(レヴァント地方)で取引が行われたこと…1点
- ※「コンスタンティノープル、シリア諸港、アレクサンドリア、カイロ」など具体的な都市名も可
- ③ 銀(毛織物、銅)と香辛料(胡椒、絹、宝石、奢侈品)が取引されたこと…1点
- ※③はヨーロッパの産品とアジアの産品の両方がなければ加点しない。

(b)5点満点 ※①と⑥がなければ満点にしない

- ① 名称：カルマル同盟…1点
- ② デンマークが主導したこと…1点
- ③ ②の事実上の女王マルグレーテが主導したこと…1点
- ④ 同君連合であったこと…1点
- ⑤ デンマーク・スウェーデン・ノルウェーの3国で形成されたこと…1点(3国すべて書けて1点)
- ⑥ 解体理由：スウェーデンが離脱したこと…1点

問(3)5点満点 ※②がなければ満点にしない

- ① 西ヨーロッパ諸国が担い手であったこと…1点
- ② ルート：ヨーロッパ→アフリカ→アメリカ大陸（カリブ海地域）…1点
- ③ ヨーロッパ→アフリカ：銃（武器）・綿製品・雑貨など…1点（いくつ書いても1点）
- ④ アフリカ→アメリカ：黒人奴隷…1点 ※「奴隷」のみは不可
- ⑤ アメリカ→ヨーロッパ：砂糖・タバコ・綿花・コーヒーなど…1点（いくつ書いても1点）
- ⑥ （ヨーロッパ諸国で）資本の蓄積が促された（産業革命の前提条件となった）こと…1点

第3問 環境と人間の歴史（配点 10点）

- ※ 漢字の誤りは不可
- ※ ひらがな表記は不可
- ※ b音をv音で表記しているものは不可
- ※ 音引きの有無や位置が違うものは不可

※各1点

- (3) モヘンジョダ（一）ロなど 可
- (4) 劉備玄德 可
- (5) シトー会 可 シトー修道院 不可
- (6) 巡礼始祖 可
- (7) 炭, 木炭 不可
- (8) ロアール=アムンゼン 可
- (9) ソビエト連邦, ソ連邦, U.S.S.Rなど 可

以上